

平成 25 年度（平成 26 年 3 月期）

事業報告書

（平成 25 年 4 月 1 日から、平成 26 年 3 月 31 日まで）

平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から、平成 26 年 3 月 31 日まで）に行なった主な事業は下記の通りです。

記

1. 公益事業の実施状況

（1）機関誌『タイ国情報』の発行（隔月発行）および復刻事業 [公 1]

① 『タイ国情報』を計画通り 6 回（平成 25 年 3・5・7・9・11 月号、平成 26 年 1 月号）発行しました。費用は、合計 3,829 千円（印刷

		平成25年度	平成24年度	増減
合計		3,829	4,071	▲ 242
内訳	印刷製本費	1,871	1,846	25
	諸謝金(執筆料)	1,769	2,037	▲ 268
	その他	189	188	1
1回あたり平均発行費用		638	679	▲ 41

製本費 1,871 千円・諸謝金<執筆料>1,769 千円・その他 189 千円、直接費用のみ、人件費等配賦費用は除く）となり、前年度に比べ 242 千円減少しました。主な要因は執筆料が 268 千円減少したことです（平成 24 年度執筆料 2,037 千円）。1 回あたりの平均発行費用は 638 千円になりました（平成 24 年度は 679 千円でした）。

今後も、費用（印刷費、執筆料）をコントロールしつつ、内容のさらなる充実を図ります。

② 1 冊あたりのページ数は前年度並みとし、費用をコントロールしつつも、本邦でも関心の高い政治・経済動向や社会・文化の変化などに関する幅広い記事が掲載できるよう、記事のレベル向上、内容の充実を図りました。また、個人会員やタイ人研究者からの寄稿を募り、執筆者の多様化を図りました。<平均ページ数（年度発行分平均）>

21年3月期 122ページ	➡	22年3月期 154ページ	➡	23年3月期 192ページ	➡	24年3月期 148ページ	➡	25年3月期 151ページ	➡	26年3月期 149ページ
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

③ 研究資料として活用されるよう、大学・公立図書館、大学研究室、研究機関などへの納本を継続しています。

・配布先数： 約 400 ヲ所

（うち、図書館・大学研究室、研究機関など、約 150 ヲ所）

- ④ 有料頒布については、学校法人からのまとまった注文があり、前年度に比べ約 30%増加しました。

<有料頒布金額推移>

21年3月期 89千円	⇒	22年3月期 218千円	⇒	23年3月期 356千円	⇒	24年3月期 209千円	⇒	25年3月期 110千円	⇒	26年3月期 146千円
----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------

- ⑤ 現在発行している『タイ国情報』の前身である『日本タイ協会々報』（昭和 10 年第 1 号～昭和 23 年第 48 号及び同時期の資料など、合計約 5,700 ページ）を、一部を除いて当協会のホームページに掲載しました。

(2) 書籍刊行事業 [公 2]

平成 25 年度は、前年度に『日本タイ協会々報』（昭和 10 年第 1 号～昭和 23 年第 48 号）の記事の内容や当協会の当時の経済状況などをまとめた『戦前の財団法人日本タイ協会会報集成解題』を発行したこともあり、書籍刊行は実施しませんでした。

(3) 講演会およびセミナー開催事業 [公 3]

- ① 平成 25 年度は社会、経済に関連した講演会を 3 回主催しました。会員のみならず、当協会のホームページ等を通じて、一般の方、アジア諸国の関連団体などから、3 回合計で約 250 名の方にご参加いただきました。

平成 25 年 6 月の講演会は、当協会として初めて大阪で開催し、多数の皆様にお集まりいただきました。

<講演会の概要>

- ・平成 25 年 6 月「タイ、その微笑みの源泉と将来」
講 師／小島 誠二（関西担当大使・政府代表／前駐タイ日本大使）
- ・平成 25 年 10 月「GMS（大メコン圏）とタイ：現状と今後の展開」
講 師／大泉 啓一郎（㈱日本総合研究所 上席主任研究員）
講 師／坂東 俊輔
(アジア開発銀行 Senior Regional Cooperation Specialist)
- ・平成 26 年 3 月「タイ国経済情勢と日系企業の展開」
講 師／谷野 創（SBCS Co.,Ltd. 社長）
(講師の肩書・所属はいずれも講演会当時のものです)

- ② また、一般社団法人世界貿易センター東京が開催したフォーラムを後援し、2015 年に予定されているアセアン経済共同体（AEC）発足に向けたタイの動向について情報提供の機会を支援しました。今後も他団体が主催する講演会などのご紹介をしてまいります。

- ・平成 26 年 2 月 第 6 回「アジアを考える」タイ経済フォーラム
「アセアン共同体およびタイ経済の展望」
講 師／ポラメー・ビモルシリー
タイ国家経済社会開発庁（NESDB）副長官
「メコン圏の国際分業とタイ国境地域開発」
講 師／田口 博之 タイ国家経済社会開発庁・JICA 専門家

③ 平成 23 年 2 月以来休止していたタイ映画に関するセミナー「タイの名作映画を楽しむ会」を復活しました。前回同様、『タイ国情報』に「タイの映画」を連載中の東京外国語大学大学院の宇戸教授に数多くのタイ映画の中から文芸作品を選んでいただきました。映画会当日は宇戸教授に作品の見どころ、時代背景、タイ文化の変遷などを解説いただき、鑑賞後、質疑応答を行いました。平成 26 年度も作品を厳選して実施する予定です。

<上映作品>

「ジャンダラ・背徳の情事」 ノンシー・ニミブット監督
「わすれな歌」 ペンエーク・ラッタナルアン監督

(4) 日本語書籍寄贈事業 [公 4]

タイで日本語教育を行なう中高校・大学などに日本語書籍を送るプロジェクト（過去、バンコクで 2 回、北部チェンマイを中心に 1 回、東北部で 1 回実施）は、本邦の協力団体や会員等から書籍を寄贈いただいたほか、タイ側での協力も得て、平成 26 年 2 月に南部の中高等学校、大学 21 校、バンコクの大学 1 校、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）附属日本語学校、国際交流基金に合計 1,365 冊を寄贈しました。在タイ日本大使館、国際交流基金、OJSAT などの協力を得て、寄贈先の選定、送付ルートの確認などを実施しました。

<協力団体>

日本：NHK、学研ホールディングス(株)、(公財)かめのり財団、(株)小学館、
(社)全国学習塾協会、(財)日本児童教育振興財団、(株)パイインターナシ
ョナル、三井倉庫(株)、三井物産(株)、三井住友海上(株)、アイシン・エ
イ・ダブリュ(株)

タイ：国際交流基金、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）

(5) 図書館の運営事業 [公 5]

平成 20 年 4 月に蔵書約 500 冊を基に開設された当協会図書館は、協会役員・会員をはじめとする多くの方々からの寄贈や独自購入により、当期末には蔵書約 4,750 冊の規模になりました。大学や研究機関のタイ研究者、タイ

で業務を行う企業の方、タイに興味をお持ちの個人の方などにご利用いただいております。

(6) ホームページを通じた情報発信 [共通]

ホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』目次、所蔵図書リストなどを提供するほか、講演会やその他の当協会活動への参加案内など、当協会からの情報発信を行っています。

2. その他の事業の実施状況

(1) 「納涼の夕べ」を開催

夏の恒例行事である「納涼の夕べ」をタイ王国大使館との共催により、平成 25 年 8 月 29 日に三井住友銀行呉服橋クラブで実施しました。大使館建て替え工事のため、駐日タイ大使公邸の庭園が使用できなかったことから、昨年に引き続き、若干規模を縮小して開催しました。当協会会員、大使館関係者、関連団体などから約 180 名に参加いただきタイ国に関係する方々の親睦交流を図りました。

3. 協力事業等の実施状況

(1) タイ王国大使館が主催するプミポン国王陛下誕生日祝賀パーティー（平成 25 年 12 月 5 日）に際し、盛花を贈呈すると共に、祝賀メッセージを英字紙に掲載しました。

(2) 日本タイ学会主催の研究大会に参加し、吉田理事長が『戦前の財団法人日本タイ協会会報集成解題』を紹介しました。

・平成 25 年 7 月 6 日（土）、7 日（日） 於：横浜市立大学

(3) 神田外語大学および在京タイ王国大使館主催の「第 8 回タイ語弁論大会」を後援すると共に、賞品を提供しました。

・平成 25 年 12 月 14 日（土） 於：神田外語大学ミレニアムハウス・ホール

4. 協会の運営状況について

(1) 会員増減

法人会員は 3 社減少して合計 106 社となりました。個人会員は 13 名増加して計 151 名となりました（いずれも平成 26 年 3 月末現在）。今後共、会員獲得に努めてまいります。

以上

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、記載する事項はありません。

平成25年度（平成26年3月期）貸借対照表

（平成26年3月31日現在）

[単位:円]

科 目	当 期	前 期(24/3月末)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金			
現金	0	0	0
預貯金	7,830,799	7,046,576	+784,223
現預金計	7,830,799	7,046,576	+784,223
流動資産合計	7,830,799	7,046,576	+784,223
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	19,000,000	19,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2) その他固定資産			
図書館所蔵書籍	1,108,356	771,356	+337,000
敷金	470,934	470,934	0
電話加入権	74,600	74,600	0
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1,653,891	1,316,891	+337,000
固定資産合計	20,653,891	20,316,891	+337,000
資産合計	28,484,690	27,363,467	+1,121,223
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	58,282	75,069	-16,787
社会保険料	36,576	35,999	+577
預り金計	94,858	111,068	-16,210
流動負債合計	94,858	111,068	-16,210
負債合計	94,858	111,068	-16,210
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	28,389,832	27,252,399	+1,137,433
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	(0)
正味財産合計	28,389,832	27,252,399	+1,137,433
負債及び正味財産合計	28,484,690	27,363,467	+1,121,223

平成25年度（平成26年3月期） 正味財産増減計算書

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

〔単位：円〕

科 目	実 績 (A)	24年度(25年3月期) 通年実績額(B)	差 異 (A-B)	備 考
1 I 一般正味財産増減の部				
2 1. 経常増減の部				
3 (1) 経常収益				
4 ①基本財産運用益	4,750	5,631	- 881	
5 基本財産受取利息	4,750	5,631	▲ 881	
6 ②受取会費	17,159,055	18,525,423	▲ 1,366,368	会費支払の期ずれ (▲1,200千円)
7 賛助会員受取会費	17,159,055	18,525,423	▲ 1,366,368	個人会員増 (+130千円)
8 ③事業収益	162,958	113,308	+ 49,650	法人会員減 (▲300千円)
9 機関誌発行・書籍発行事業	146,038	109,568	+ 36,470	
10 講演会・セミナー事業	13,200	0	+ 13,200	
11 図書館運営事業、他	3,720	3,740	▲ 20	
12 ④雑収益	43,692	301,572	▲ 257,880	
13 雑収入	42,140	300,000	▲ 257,860	駐日タイ大使歓迎会会費 (25年3月実施)
14 受取利息	1,552	1,572	▲ 20	
15 経常収益計	17,370,455	18,945,934	▲ 1,575,479	
16 (2) 経常費用				
17 印刷製本費	1,870,773	1,846,109	+ 24,664	
18 書籍刊行費	0	31,440	▲ 31,440	
19 刊行物購入費	300,074	174,136	+ 125,938	
20 諸謝金	2,198,496	2,456,996	▲ 258,500	原稿料、講師料抑制
21 通信運搬費	801,845	715,752	+ 86,093	
22 旅費	522,739	463,260	+ 59,479	
23 消耗品費	205,091	313,788	▲ 108,697	
24 パーティ費	508,481	391,783	+ 116,698	
25 会議費	111,999	95,735	+ 16,264	
26 会場費	25,000	30,000	▲ 5,000	
27 大使館行事関係費	68,250	528,727	▲ 460,477	駐日タイ大使歓迎会 (25年3月実施)
28 雑支出	3,675	0	+ 3,675	
29 臨時支出	0	0	+ 0	
30 支払手数料	165,410	177,270	▲ 11,860	
31 賃借料	1,977,912	1,978,332	▲ 420	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
32 光熱水料費	199,200	199,200	+ 0	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
33 清掃費	201,600	201,600	+ 0	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
34 租税公課	1,440	2,000	▲ 560	
35 消耗什器備品費	467,163	56,519	+ 410,644	Windows XPサポート切れ対応
36 減価償却費	0	69,832	▲ 69,832	
37 役員報酬	2,400,000	1,500,000	+ 900,000	常務理事1名就任
38 給与・賞与	3,456,000	5,151,161	▲ 1,695,161	事務局1名減員
39 通勤手当	443,200	443,400	▲ 200	
40 社会保険料	615,424	610,380	+ 5,044	
41 福利厚生費	26,250	23,600	+ 2,650	
42				
43 経常費用計	16,570,022	17,461,020	▲ 890,998	
44 評価損益等計	0	0	+ 0	
45 当期経常増減額	800,433	1,484,914	▲ 684,481	

科 目	実 績 (A)	24年度(25年3月期) 通年実績額(B)	差 異 (A-B)	備 考
46 2. 経常外増減の部				
47 (1) 経常外収益	337,000	20,900	+ 316,100	
48 資産評価益	337,000	20,900	+ 316,100	
49 (2) 経常外費用				
50 当期経常外増減額	337,000	20,900	+ 316,100	
51 当期一般正味財産増減額	1,137,433	1,505,814	▲ 368,381	
52 一般正味財産期首残高	27,252,399	25,746,585	+ 1,505,814	
53 一般正味財産期末残高	28,389,832	27,252,399	+ 1,137,433	
54 II 指定正味財産増減の部				
55 指定正味財産期首残高	0	0	+ 0	
56 指定正味財産期末残高	0	0	+ 0	
57 III 正味財産期末残高	28,389,832	27,252,399	+ 1,137,433	

平成26年3月期 正味財産増減計算書内訳表

(平成25年4月1日 から 平成26年3月31日まで)

公益財団法人日本タイ協会
山崎 昌

科 目	公益的事業					その他事業		(A) 合計	(B) 25年3月期 前期実績	差異 (A-B)	26年3月期 予算	差異 (A-C)
	公1(機関誌)	公2(刊行)	公3(講演会)	公4(寄贈)	公5(図書館)	公益共進	公益小計					
1 一般正味財産増減の部												
2 経常増減の部												
3 (1) 経常収益												
4 ①基本財産運用収益												
5 ②受取利息												
6 ③事業収益	4,289,764	686,362	1,201,134	686,362	1,715,906	4,750	8,574,528	857,952	17,159,055	-1,366,368	17,160,000	945
7 ④受取利息												
8 ⑤事業収益	146,038						146,038		146,038	36,470	80,000	66,038
9 ⑥受取利息							13,200		13,200	13,200	20,000	-6,800
10 ⑦受取利息							3,720		3,720	-20	2,500	1,220
11 ⑧受取利息												
12 経常収益	4,435,802	686,362	1,214,334	686,362	1,719,626	1,552	8,748,788	867,952	17,370,455	-1,575,479	17,268,450	102,005
13 経常収益												
14 経常収益												
15 経常収益												
16 (2) 経常費用	1,870,773						1,870,773		1,870,773	24,664	1,850,000	20,773
17 印刷製本費												
18 書籍刊行費												
19 刊行物購入費												
20 諸謝金	1,768,500	199,998	30,000	191,814	108,260		300,074		300,074	31,440	220,000	80,074
21 通信運搬費	158,830	24,270	74,800	94,496	33,988		2,198,496		2,198,496	125,938	2,000,000	198,496
22 旗費	52,044	26,889	38,166	251,149	31,226		105,408		105,408	258,500	900,000	-795,500
23 消耗品費	40,461	16,184	40,461	24,277	40,461		25,153		25,153	715,752	86,093	1,845
24 ハーネイ費	9,714	3,469	34,902	31,600	3,469		66,502		66,502	59,479	483,000	39,739
25 会議費												
26 会費												
27 雑費												
28 雑費												
29 雑費												
30 臨時支出												
31 支払手数料												
32 賃借料												
33 光熱水料費												
34 賃借料												
35 消耗什器備品費												
36 減価償却費	840,000	240,000	480,000	240,000	360,000		2,160,000		2,160,000	68,832	2,400,000	-239,168
37 役員報酬	566,784	217,728	563,328	217,728	518,400		2,083,968		2,083,968	152,064	3,456,000	-1,372,032
38 給与・賞与	44,320	22,160	66,480	22,160	66,480		221,600		221,600	443,400	450,000	-9,600
39 逆風手当	61,542	30,771	92,314	30,771	92,314		307,712		307,712	615,424	610,000	5,424
40 社会保険料	2,625	1,313	3,938	1,313	3,937		13,126		13,126	23,600	24,000	-374
41 福利厚生費												
42 経常費用	5,492,309	806,140	1,512,240	1,136,993	2,717,964	213,268	11,878,914	819,624	16,570,022	-890,998	17,198,432	-628,410
43 経常費用												
44 経常費用												
45 当期経常増減額	-1,056,507	-119,778	-297,906	-450,631	-998,338	-206,966	-3,130,126	48,328	800,433	-684,481	70,018	730,415
46 (2) 経常外増減の部												
47 ①経常外収益												
48 ②経常外費用												
49 当期経常外増減額												
50 当期経常外増減額												
51 当期経常外増減額												
52 指定正味財産増減高	7,971,745	1,198,339	2,189,293	1,464,057	3,563,148	176,303	16,562,945	1,355,033	27,252,399	1,505,814	25,478,789	1,773,610
53 指定正味財産増減高	6,915,238	1,078,621	1,891,387	1,013,426	2,901,810	-30,663	13,769,819	1,403,361	28,389,832	1,137,433	25,588,807	2,791,025
54 指定正味財産増減高												
55 指定正味財産増減高												
56 指定正味財産増減高												
57 正味財産増減未残高	6,915,238	1,078,621	1,891,387	1,013,426	2,901,810	-30,663	13,769,819	1,403,361	28,389,832	1,137,433	25,588,807	2,791,025

平成25年度（平成26年3月期） 財 産 目 録

（平成26年3月31日現在）

[単位：円]

科 目	金 額	使 用 目 的 等
1 I 資産の部		
2 1. 流動資産		
3 現金	0	
4 普通預金		
5 三井住友銀行日本橋支店	2,208,655	
6 三井住友銀行日本橋支店 <預り金口>	94,858	
7 三菱東京UFJ銀行日本橋支店	1,228,501	
8 普通預金計	3,532,014	
9 振替貯金	298,785	
10 定期預金		
11 三菱東京UFJ銀行日本橋支店	4,000,000	
12 定期預金計	4,000,000	
13 流動資産計	7,830,799	
14 2. 固定資産		
15 基本財産		
16 定期預金		
17 三井住友銀行日本橋支店	19,000,000	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。
18 基本財産計	19,000,000	
19 その他固定資産		
20 図書館所蔵書籍	1,108,356	公益目的保有財産であり、図書館運営事業(公5)に100%使用している。
21 敷金	470,934	三井住友銀行 神保町ビル別館2階 60.69㎡。共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。
22 電話加入権 什器備品	74,600	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。
23 (東芝製プリンタ複合機Studio232)	1	公益目的保有財産であり、100%を公益目的に使用している。
24 その他固定資産計	1,653,891	
25 固定資産合計	20,653,891	
26 資 産 合 計	28,484,690	
27 II 負債の部		
28 1. 流動負債		
29 預り金		
30 源泉所得税	58,282	執筆・講演謝金、役員報酬、給与に係る源泉所得税
31 社会保険料	36,576	健康保険料、厚生年金保険料
32 預り金計	94,858	
33 負 債 合 計	94,858	
34 正 味 財 産	28,389,832	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、法人税法に規定する次の方式を採用している。

有形固定資産： 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2. 会計方針の変更

平成 18 年度より、新公益法人会計基準(平成 16 年 10 月 14 日改正)を適用している。